

技術ノート KGTN 2012020701

現象

[GGW3.2.1/GGH4.0] P2V (Physical to Virtual) ツールを使い GG サーバを物理マシンから仮想マシンで移行した場合、物理マシンと同様にサポートを受けられるのか？

説明

GG がサポートする環境は、物理マシンまたは GraphOn 社が動作を確認した仮想化ソフトウェア（仮想マシン）に、マイクロソフト社の Windows 2003/2008 のインストーラーを使用して作成された標準的な Windows 環境に限られます。従って、P2V ツールによって、ドライバやレジストリが変更等が行われた環境についてはサポートの対象外となります。なお、P2V ツールで移行した環境で発生した問題が、物理マシンまたは GraphOn 社が動作を確認した仮想化ソフトウェア環境でも再現する場合は、後者の環境を前提として通常のサポートを行います。

補足1

自己責任で P2V ツールを適用する場合は、以下の手順で作業を行って下さい。

- 1) 物理マシンの環境から GG をアンインストール
- 2) P2V ツールで移行
- 3) 移行環境で GG をインストール

P2V ツールを適用する場合、一般に「ハード依存のソフトウェアのアンインストール」が推奨されており、ディスプレイドライバはこれに該当します。GG のインストーラーはディスプレイドライバの情報を参照し、それに適合する環境を設定するため、結果的に P2V ツール適用するに当り GG のアンインストールが必要となります。

補足2

P2V (Physical to Virtual) ツールの適用に関する一般的な情報は、技術ノート KGTN#2011111601 をご覧下さい。